

ゴムチップ舗装材
セイフティ・グリップ施工基準書



1. ゴムチップ施工下地

下記は下地が最も重要なので一般的注意事項を示す。

- 1) 下地は開粒、密粒アスコンまたはコンクリート。細粒アスコンは不可。
- 2) 密粒でも常温アスコンおよびスパイクで穴があく下地は不可。
- 3) 既存アスコンの場合、ゴム弾性層の伸縮に耐えるだけの強度・厚みを持ったものであり、強度の弱った部分、ひび割れ部分は事前に補修を要する。
- 4) 原則として、両側に境界ブロックのあることが望ましい。
- 5) 新規打設アスコンはアスコンの油分をできるだけ除去する為にゴム弾性材着工前5～7日間の養生期間を必要とする。
- 6) 下地がコンクリートの場合、初期強度が十分に出るまで(7日間位)養生期間が必要である。なお、強度および水分等の関しても確認する必要がある。
- 7) 下地が開粒、密粒アスコン又はコンクリートであれば不陸誤差がない様整正する。

2. ゴムチップ舗装材の施工可否の判断

- 1) 降雨・降雪時は施工できないが、下記の方法で可能である。
 - ①降雨時 アスコンの表面が自然乾燥で乾き、手に水分がつかなくなったら施工可能
 - ②降雪時 除雪をして、アスコンの表面が上記と同じ状況になったら施工可能。
- 2) ゴムチップ舗装材のバインダーは、1液性で空気中の水分を吸収して硬化するので、ダイヤモンドダスト現象が起こる-20℃以下の場合には施工できない。ただし、日中の気温がそれ以上になると硬化時間は遅くなるが硬化する。

以上により、特に冬期間工事は材料の硬化時間による材質変化の恐れがあるので、全面養生をし水滴等が落下しない及び施工範囲内温度を5～10℃を保持することが望ましい。

3. ゴムチップ舗装材施工 (t=8mm)

- 1) **下地の清掃**
- 2) **施工帯の位置出し**
t=8mmは1バッチ当たり49kgとなり、m²当たり6.877kg使用するので7.1m²/1バッチとなる
したがってあらかじめ計測し下地にチョーク等で標示する。
- 3) **プライマー塗布**
プライマー(0.18kg/m²)を刷毛・ローラー等で塗布する。
- 4) **ゴムチップ層の施工**
配合は6.877kg/m²・1バッチ49kgとなる。混練はゴムチップ用特殊モルタルミキサーで5分間混練する
- 5) **均し作業**
 - ① 混練された材料を1バッチ当たりの施工区画内に広げレーキ等で均一な厚さに粗均しする
 - ② 均一に粗均した後の表面を、加熱ゴテ(小型ガスボンベを使用する)で上から押さえつける様に転圧し、外観上均一な密度、厚みになる様入念に撫でて押える
 - ③ 仕上がり表面は、均一な外観で明らかに目で見て判る粗密仕上がりになっていないよう確認し、粗密の部分は材料を充填して密に仕上げる
- 6) **硬化養生対策**
施工後歩行可能になるまで2～3日を要するのでバリケード、ローピング等で歩行者その他が入らない様充分な処置をおこなう。
- 7) **安全その他の留意事項**
 - ① 材料は火気厳禁なので喫煙は定められた場所のみで行う(施工箇所での喫煙は厳禁)
 - ② 材料の混練場所必ず消火器(有機溶剤用、中型)を設置する。
 - ③ ガス式の加熱ゴテは近くに可燃性材料等のないこと充分注意して使用する。室内でこのタイプの加熱ゴテを使用する場合は換気設備を設ける等注意が必要
 - ④ 発電機は必ずアースをとる。発電機のコードを接続する時は必ず発電機を停止しておこなう
 - ⑤ 機械の電気部分に触れる時は必ずゴム手袋等安全対策をすること
 - ⑥ コンプレッサー等はベルトが必ず矢印の方向へまわることを確認する。
 - ⑦ 使用材料はすべて空気中の湿気に非常に敏感なので使用直前まで開封してはいけない。
 - ⑧ 作業中及び準備中にかかわらず、保護手袋・保護メガネ・マスク等安全対策を必要とする
 - ⑨ その他労働安全衛生法を遵守し、常に作業上の危険や事故防止に配慮する。
また、施工現場だけでなく周辺環境に対しても十分な配慮が求められる。

3. ゴムチップ舗装材施工(t=10mm)

- 1) **下地の清掃**
- 2) **施工帯の位置出し**
t=10mmは1バッチ当たり49kgとなり、㎡当たり8.597kg使用するので5.7㎡/1バッチとなる
したがってあらかじめ計測し下地にチョーク等で標示する。
- 3) **プライマー塗布**
プライマー(0.18kg/㎡)を刷毛・ローラー等で塗布する。
- 4) **ゴムチップ層の施工**
配合は12.895kg/㎡・1バッチ49kgとなる。混練はゴムチップ用特殊モルタルミキサーで5分間混練する
- 5) **均し作業**
 - ① 混練された材料を1バッチ当たりの施工区画内に広げレーキ等で均一な厚さに粗均しする
 - ② 均一に粗均した後の表面を、加熱ゴテ(小型ガスポンベを使用する)で上から押さえつける様に転圧し、外観上均一な密度、厚みになる様入念に撫でて押える
 - ③ 仕上がり表面は、均一な外観で明らかに目で見て判る粗密仕上がりになっていないよう確認し、粗密の部分は材料を充填して密に仕上げる
- 6) **硬化養生対策**
施工後歩行可能になるまで2～3日を要するのでバリケード、ローピング等で歩行者その他が入らない様充分な処置をおこなう。
- 7) **安全その他の留意事項**
 - ① 材料は火気厳禁なので喫煙は定められた場所のみで行う(施工箇所での喫煙は厳禁)
 - ② 材料の混練場所必ず消火器(有機溶剤用、中型)を設置する。
 - ③ ガス式の加熱ゴテは近くに可燃性材料等のないこと充分注意して使用する。室内でこのタイプの加熱ゴテを使用する場合は換気設備を設ける等注意が必要
 - ④ 発電機は必ずアースをとる。発電機のコードを接続する時は必ず発電機を停止しておこなう
 - ⑤ 機械の電気部分に触れる時は必ずゴム手袋等安全対策をすること
 - ⑥ コンプレッサー等はベルトが必ず矢印の方向へまわることを確認する。
 - ⑦ 使用材料はすべて空気中の湿気に非常に敏感なので使用直前まで開封してはいけない。
 - ⑧ 作業中及び準備中にかかわらず、保護手袋・保護メガネ・マスク等安全対策を必要とする
 - ⑨ その他労働安全衛生法を遵守し、常に作業上の危険や事故防止に配慮する。
また、施工現場だけでなく周辺環境に対しても十分な配慮が求められる。

3. ゴムチップ舗装材施工(t=15mm)

- 1) **下地の清掃**
- 2) **施工帯の位置出し**
t=15mmは1バッチ当たり49kgとなり、㎡当たり12.895kg使用するので3.8㎡/1バッチとなる
したがってあらかじめ計測し下地にチョーク等で標示する。
- 3) **プライマー塗布**
プライマー(0.18kg/㎡)を刷毛・ローラー等で塗布する。
- 4) **ゴムチップ層の施工**
配合は12.895kg/㎡・1バッチ49kgとなる。混練はゴムチップ用特殊モルタルミキサーで5分間混練する
- 5) **均し作業**
 - ① 混練された材料を1バッチ当たりの施工区画内に広げレーキ等で均一な厚さに粗均しする
 - ② 均一に粗均した後の表面を、加熱ゴテ(小型ガスボンベを使用する)で上から押さえつける様に転圧し、外観上均一な密度、厚みになる様入念に撫でて押える
 - ③ 仕上がり表面は、均一な外観で明らかに目で見て判る粗密仕上がりにっていないよう確認し、粗密の部分は材料を充填して密に仕上げる
- 6) **硬化養生対策**
施工後歩行可能になるまで2～3日を要するのでバリケード、ローピング等で歩行者その他が入らない様十分な処置をおこなう。
- 7) **安全その他の留意事項**
 - ① 材料は火気厳禁なので喫煙は定められた場所のみで行う(施工箇所での喫煙は厳禁)
 - ② 材料の混練場所必ず消火器(有機溶剤用、中型)を設置する。
 - ③ ガス式の加熱ゴテは近くに可燃性材料等のないこと充分注意して使用する。室内でこのタイプの加熱ゴテを使用する場合は換気設備を設ける等注意が必要
 - ④ 発電機は必ずアースをとる。発電機のコードを接続する時は必ず発電機を停止しておこなう
 - ⑤ 機械の電気部分に触れる時は必ずゴム手袋等安全対策をすること
 - ⑥ コンプレッサー等はベルトが必ず矢印の方向へまわることを確認する。
 - ⑦ 使用材料はすべて空気中の湿気に非常に敏感なので使用直前まで開封してはいけない。
 - ⑧ 作業中及び準備中にかかわらず、保護手袋・保護メガネ・マスク等安全対策を必要とする
 - ⑨ その他労働安全衛生法を遵守し、常に作業上の危険や事故防止に配慮する。
また、施工現場だけでなく周辺環境に対しても十分な配慮が求められる。